

令和元年度 公益財団法人山形市文化振興事業団事業報告

令和元年度は、山寺芭蕉記念館並びに最上義光歴史館の開館 30 周年の記念すべき年であった。両館では開館 30 周年を記念して、記念展の開催や関連事業を展開し、今後の飛躍につなげる年となるよう努めた。

山寺芭蕉記念館では、開館 30 周年記念として特別展「おくのほそ道 330 年記念芭蕉展 一漂泊の俳人、その旅と文学一」を開催し、奥の細道の山形路を中心に紹介し、併せて「俳人黛まどか氏講演会」を行い、芭蕉から現代まで俯瞰しながら世界の中の俳句文化について発信した。また、日本遺産「山寺が支えた紅花文化」に因み企画展「山寺と紅花 V 一立石寺の歴史と山形一」で、紅花交易の中で隆盛を極めた城下町山形と山寺の関係に焦点をあてて展示した。

最上義光歴史館では、開館 30 周年記念事業として、常設展示Ⅱ「開館 30 周年記念 ～最上家ゆかりの新収蔵品～」と「復元!!最上義光所用鉄製指揮棒」を実施し、開館から 30 年の間に新収蔵品となった主な資料の紹介と復元された鉄製指揮棒の一般公開を行った。また、常設展示Ⅲ「最上義光 けんこんいってき ～乾坤一擲の戦い『最上義光と長谷堂合戦図屏風』展」ではチラシを市内全小学校に配布して広報に力を入れた。その他、こども講座「ヨシアキ☆すく～る!？」は前年度より 2 校多い 14 の小学校で実施して最上義光の顕彰に力を注いだ。

また、令和元年度は、9 月に観測史上最強クラスの勢力の台風、10 月に激甚災害指定の台風が襲来した事や、10 月からの消費税増税などが県外観光客の足を鈍らせたであろう事が推察される年でもあった。更には、昨年 12 月 31 日に WHO（世界保健機関）によって発生が報告された新型コロナウイルス感染症拡大の影響は日々大きくなり、2 月には事業の一部を中止せざるを得ない状況に陥った。その感染対策として行われた外出自粛・旅行自粛は、国内のインバウンドの急激な減少をもたらし、それは当市も例外ではなかった。

このような状況下において、山寺芭蕉記念館の入館者数は 11 月末の時点で前年対比 5.2%の増であったが 2 月末で 4.3%の減少に転じ、最終的に 17,377 人で前年対比 8.6%の減少となり、施設全体の利用者数も 23,424 人で前年対比 10.8%の減少となった。

最上義光歴史館の入館者は 25,030 人で、新型コロナウイルス感染症拡大の中ではあったが前年度対比 11.2%の増加とすることができた。

山寺芭蕉記念館

1. 事業計画による主催事業について

(1) 展示事業

①企画展「山寺と紅花Ⅳ ―雛と雅―」

江戸時代、西回り航路の発達などにより海路を用いた交易が盛んになったが、山形においては、日本海海運と最上川舟運を活用した紅花交易によって繁栄した豪商により、雅やかな京・大坂を中心とした文化が山形にもたらされた。その一つとして雛人形がもたらされ、今日まで雛祭りの風習が根付いている。

本展では、それら雛人形をはじめ美術品や芸術性の高い調度品などを展示し、優雅で洗練された雅の世界をお楽しみいただけるよう構成した。

○開催期間 4月1日(月)から4月8日(月)(延べ日数8日)

○入館者数 199名：1日平均約25名(前年度の雛人形展9日間165名)

○期間中総入館者数(2/28～4/8) 1,606名：1日平均約41名

(延日数40日間)(前年度46日間 945名)

②企画展「近現代俳句の世界 ―明治の俳句革新から現代まで―」

正岡子規や高浜虚子・河東碧梧桐などによる松山に興った俳句運動にスポットをあてながら、近現代俳句勃興期における有名俳人の息吹きや、当時の俳句の躍動感を味わうことのできる展示をした。また、関連事業として俳句教室を行い、俳句の楽しさを広めた。

○開催期間 4月12日(金)から6月3日(月)(延べ日数52日)

○入館者数 3,493名：1日平均約66名

(前年度は常設展、前年同期52日間で3,124名)

○初心者のための俳句教室 5月18日(土) 講師 武田菜美氏(NHK学園講師)
参加者 8名

③特別展「おくのほそ道 330年記念 芭蕉展 ―漂泊の俳人、その旅と文学―」

芭蕉が奥の細道行脚で山寺を訪れて330年になることを記念し「奥の細道」、とりわけ山形の旅路に焦点をあて、芭蕉に関する貴重な資料や、様々な関連資料によって、芭蕉を魅了した山形路の旅を追体験できる展示を行った。

○開催期間 6月7日(金)から7月23日(火)(延べ日数47日)

○入館者数 2,709名：1日平均約58名)

(前年度は特別展「坂田燦の版画巡る『おくのほそ道』」47日間、2,589名)

○ギャラリートーク 6月25日(火) 相原一士(当館学芸員)参加者11名

④企画展「妖怪展 ―不思議・幻想・怪奇の世界―」

江戸時代から現代まで、妖怪に関わる資料や作品を紹介して、日本文化の一端を紹介した。

また、関連事業としてナイトミュージアムを開催して、妖怪の世界を体験する楽しいイベントとした。

○開催期間 7月26日(金)から9月2日(月)(延べ日数39日間)

○入館者数 3,797名：1日平均約97名

(前年度は企画展「妖怪 今昔絵巻」、前年同期39日間で2,609名)

○ギャラリートーク 8月4日(日) 相原一士(本館学芸員) 参加者18名

○探検ナイトミュージアム 8月11日(日) 18時から20時まで

「妖怪と幽霊の話」黒木あるじ氏(作家)

「妖怪展と和室探検きもだめし」

「妖怪展ギャラリートーク」相原一士(本館学芸員)

参加者48名

⑤企画展「山寺と紅花 V —立石寺の歴史と山形—」

紅花交易の中で隆盛を極めた城下町山形と山寺との関係に焦点をあてて、立石寺の歴史文化に迫った。

○開催期間 9月5日(木)から12月2日(月)(延べ日数89日間)

○入館者数 5,796名：1日平均65名

(前年度は企画展「山寺と紅花 I」「山寺と紅花 II」「山寺と紅花 III」、前年同期75日間で6,250名)

⑥企画展「山寺と紅花 VI —最上川舟運と酒田湊からの海運—」

紅花交易は山形に大きな富をもたらしたが、そこで利用された最上川舟運と北廻り航路による海運は、京都・大坂等の文化を最上川流域の寄港地にもたらした文化の道でもあった。この展示では、舟運・海運の実態や紅花産業に関する資料などを展示した。

○開催期間 12月7日(土)から2月17日(月)(延べ日数55日間)

○入館者数 700名：1日平均約13名

(前年度は企画展「山寺と紅花III」、前年同期63日間で1,288名)

⑦企画展「山寺と紅花 VII —お雛さまの雅—」

江戸時代、西廻り航路の発達などにより海路を用いた交易が盛んになった。山形においては、日本海海運と最上川舟運を活用した紅花交易によって繁栄した豪商により、京・大坂を中心とした華やかな文化が山形にもたらされた。その一つとして雛人形がもたらされ、今日まで雛祭りの風習が残り、根づいている。

本展では、それら山形に伝わる旧家の雛人形などを公開し、“お雛さまの雅”をご鑑賞いただく機会とした。

○開催期間 2月21日(金)から3月31日(火)(延べ日数40日)

○入館者数 683名：1日平均約17名

- (前年度は企画展「山寺と紅花Ⅳ」、前年同期 32 日間で 1,407 名)
- 総入館者数 (2/19～4/6) 730 名：1 日平均約 16 名
(延べ日数 46 日間)(前年度 40 日間 1,606 名)
 - ギャラリートーク 3 月 15 日(日) 解説 相原一士(本館学芸員) 参加者 5 名

(2) 普及啓発事業

①第 62 回全国俳句山寺大会

俳句の普及と振興をはかるため、山寺文化保存会と共催し、名勝山寺の地で芭蕉が訪れた時期に句会を開催した。

- 日 時 7 月 14 日 (日)
- 選 者 長谷川 權氏 (朝日俳壇選者)
古賀 雪江氏 (「雪解」主宰)
藤田 直子氏 (「秋麗」主宰)
阿部 月山子氏 (「春耕」同人) 鈴木 正子氏 (「初蝶」同人)
黒坂 重政氏 (「里」同人) 伊藤 寛氏 (「古志」同人)
- 事前投句 1,232 句(前年度 1,318 句)
- 大会参加者 105 名(前年度 97 句名)

②第 11 回山寺芭蕉記念館英語俳句大会

英語俳句を通して俳句の更なる交流促進、俳句文化の国際交流をはかるとともに、英語教育や文化、観光振興に寄与することを目的とした。

- 審査委員 飯島 武久氏 (国際日本文化研究会会長・山形大学名誉教授)
大場 登氏 (第 10 回山寺芭蕉記念館英語俳句大会実行委員会委員長)
万里小路 讓氏 (詩人・評論家)
リサ ソマーズ氏 (翻訳家・山形大学非常勤講師)
相馬 周一郎 (公益財団法人山形市文化振興事業団理事長)
- 投句数 1,277 句(前年度 1,618 句)
- 参加者数 830 名(前年度 1,215 名)

③山寺芭蕉記念館開館 30 周年記念「俳人黛まどか氏講演会」

山寺芭蕉記念館開館 30 周年を記念し「世界の中の俳句 ―芭蕉から現代まで―」を演題に講演会を行った。

- 日 時 7 月 20 日(土)
- 講 師 黛 まどか氏 (俳人)
- 参加者 93 名

④山寺芭蕉記念館ボランティア養成講座

「奥の細道」のボランティアガイドを育成する講座を奥の細道マイスターの

会・山形大学と連携して開催した。

○開催日時・参加者

第1回 8月31日(土) 参加者26名

展示解説、和本の取扱い、講義「芭蕉の「奥の細道」の旅」

第2回 9月1日(日) 参加者26名

山寺の歴史と文化（立石寺現地講座）、日本文化体験（掛軸）

第3回 9月21日(土) 参加者22名

日本文化体験（茶道）、講座「俳句と連句」

第4回 9月22日(日) 参加者18名

課題発表、講師とボランティアガイドによる相談会

第5回 11月16日(土) 参加者19名

最上義光歴史館見学、講演「俳句の国際化とその未来」（山形市民会館）

第6回 11月17日(日) 参加者18名

発表準備、修了検定

○講師 清原正田氏（宝珠山立石寺貫主）

山本陽史氏（山形大学学術研究院教授）

佐藤 琴氏（山形大学学術研究院准教授）

武田菜美氏（NHK学園講師）

原 葉子氏（表千家）

⑤アンサンブル・エプシロンミュージアムコンサート

聖バレンタイン・ブラスアンサンブルの主催、当事業団の共催により山寺芭蕉記念館の展示室を会場に演奏会を実施した。

○日時 10月17日(木)

○演奏者 アンサンブル・エプシロン(金管アンサンブル〔フランス〕)

○参加者 45名

⑥第50回芭蕉忌俳句大会

俳句の普及をはかるため、山形県俳人協会と共催し、山寺の地で芭蕉を偲び句会を開催した。

○日時 10月27日(日)

○選者 松浦俊介氏、阿部月山子氏、鈴木正子氏、黒坂重政氏、伊藤 寛氏

○事前投句 630句(前年度654句)

○大会参加者 46名(前年度45名)

⑦第29回山寺芭蕉記念館文化セミナー「芭蕉と『奥の細道』」

広い視野で日本文化と歴史を見つめる講座を開設し、市民文化の向上をはかると共に新たな視点を提示する。

今年度は芭蕉と奥の細道をテーマとして4回の講座を企画した。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全4回(2/29、3/7、3/14、3/21)を開催中止とした。

⑧芭蕉を偲んで投句しよう(一般の部・小中学生の部)

俳句の普及をはかるため、山寺芭蕉記念館内に投句箱を設置し、投句選を行った。

- 期 間 4月から3月まで
- 選 者 ・一般の部 伊藤 寛氏(山形県俳人協会幹事長)
・小中学生の部 武田 菜美氏(山形県俳人協会常任幹事)
- 投句数 ・一般の部 61句(前年度54句)
・小中学生の部 112句(前年度22句)

⑨ITに係わる企画と情報管理

インターネットを媒体として、ホームページを活用して様々な情報を発信した。

○アクセス件数

<4月から3月までの延366日間のアクセス件数>

	平成30年度	令和元年度	前年度比
回数	257,664件 (1日/705件)	279,706件 (1日/764件)	8.6%増
人数	58,636件 (1日/160件)	68,979件 (1日/188件)	17.6%増

事業の予告や報告、芭蕉及び「奥の細道」に関する情報の公開を行い、山寺芭蕉記念館の活動の周知に役立てた。

(3) 茶席事業

①市民茶会(通年)

抹茶または煎茶の呈茶を行い、茶道作法など、茶道文化の啓蒙普及をはかった。

○実施状況

実施月	日 数	利用者数(人)
4月	1	37
5月	1	10
6月	4	230
7月	1	50
8月	1	39

9月	1	275
10月	0	0
11月	1	50
合計	10	691 (7.6%減)
前年度	9	748

() 内は前年度同期比 (%)

②茶房 芭蕉堂 (通年、但し市民茶会開催日を除く)

抹茶の呈茶を常時行い、茶道文化に親しむ一助とした。

4月から11月は茶室立礼席で、12月から3月は談話室で開催。

○実施状況

実施月	日数	利用者数(人)
4月	20	233
5月	18	238
6月	18	261
7月	18	241
8月	20	294
9月	15	141
10月	23	249
11月	24	337
12月	20	36
1月	22	29
2月	24	49
3月	31	47
合計	253	2,155 (7.5%減)
前年度	259	2,329

() 内は前年度同期比 (%)

③山寺感謝の茶会

山寺地区民に対し、平素から山寺芭蕉記念館の事業に理解と協力を頂いていることへの感謝の意を表して呈茶を行い、茶の湯に親しむ機会とした。

- 開催日 11月23日(土・祝)
- 参加者数 65名(前年度参加者数88名)

(4) 収蔵品の貸し出し

①一般社団法人茶道裏千家淡交会山形支部

- 貸出資料 布袋図 松花堂昭乗 筆・江月宗玩 賛
- 期間 令和元年9月16日
- 内容 「茶道裏千家淡交会 山形支部設立70周年 青年部50周年 学校茶道45周年 記念茶会」で展示のため。

(5) 収蔵品の掲載許可

①(株)アダック

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期日等 令和元年5月20日発行
- 内容 雑誌「てんとう虫」に掲載。

②山形県社会科研究会

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期日等 令和2年4月1日発行。
- 内容 「歴史の資料」に掲載。

③酒田市立資料館

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期日等 令和元年9月7日～
- 内容 企画展「湊町酒田 北前船がつないだ土地の縁」パネル等に使用。

④日本文教出版(株)

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期日等 令和2年4月1日発行
- 内容 教科書「中学社会歴史的分野」に掲載。

⑤白鷹町観光協会

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期日等 令和元年7月2日～
- 内容 第25回白鷹紅花まつり展示パネルに使用。

⑥宮城県美術館 副主任研究員 土生和彦氏

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期日等 令和元年8月10日

○内 容 横山崋山展(京都文化博物館)講演会「京と東北をつなぐ紅花の風景」で使用。

⑦(株)TBS テレビ

○掲載資料 「紅花屏風」 青山永耕 筆
○期 日 等 令和元年8月4日放送
○内 容 「じよんのび日本遺産」で使用。

⑧(株)テレビユー山形

○掲載資料 「紅花屏風」 青山永耕 筆
○期 日 等 令和元年8月14日放送
○内 容 「山形 夏の涼 冷たい麺道中!Ⅲ」で使用。

⑨(株)山形テレビ

○掲載資料 「紅花屏風」 青山永耕 筆
○期 日 等 令和元年9月9日放送
○内 容 「ぶらりちまたで再発見」で使用。

⑩村山民俗学会

○掲載資料 羽州山寺立石寺宝珠山略絵図
○期 日 等 令和元年8月25日発行
○内 容 日本山岳修験学会山寺立石寺学術大会発表要旨・資料に掲載。

⑪小林俊介氏

○掲載資料 「紅花屏風」 青山永耕 筆
○期 日 等 ー
○内 容 調査研究で使用。

⑫高橋卓也氏

○掲載資料 「紅花屏風」 青山永耕 筆
○期 日 等 令和2年2月21日放送
○内 容 映画「紅花の守人」に使用。

2. 運営懇談会、資料整備検討委員会に関する事項について

(1)令和元年度 山寺芭蕉記念館運営懇談会

日 時 令和元年10月16日(水) 午後2時
場 所 山寺芭蕉記念館 会議室
内 容 ①報告 ・平成30年度事業報告

- ・令和元年度事業経過報告
- ②懇談　・令和2年度事業及び運営について
- ・その他

(2)令和元年度 山寺芭蕉記念館資料整備検討委員会
開催なし

3. 特筆すべき事項について

(1) 第1回山寺・蔵王ウルトラマラソンのスタート・ゴール会場

4月21日、第1回山寺・蔵王ウルトラマラソン（主催：第1回山寺・蔵王ウルトラマラソン実行委員会）のスタート・ゴール会場となった。

(2) 「山寺ミュージアムめぐり共通チケット」発売

6月22日、山寺芭蕉記念館と山寺後藤美術館のお得な共通チケット「山寺ミュージアムめぐり共通チケット」の発売を始め、誘客に努めた。（通常価格、2館合計で大人1,200円、大学生1,100円のところ、大人・大学生共に800円で2施設が観覧できるもの。）

(3) 『ナショナル ジオグラフィック トラベラー』誌の取材と記事での紹介

8月1日、フランス語版ナショナル ジオグラフィックの編集長が、取材に来館された。2020年『ナショナル ジオグラフィック トラベラー』誌 新年号の記事「今、見るべき東北」で、山寺立石寺の納経堂・開山堂の写真と共に山寺芭蕉記念館がボランティアガイドの活動と共に紹介された。

(4) 『山形シティ情報』「山形の歴史を体感しよう！山寺芭蕉記念館」での紹介

10月25日、山形市の広報番組『山形シティ情報』「山形の歴史を体感しよう！山寺芭蕉記念館」（山形テレビ）で企画展「山寺と紅花 V」が紹介された。

(5) ボローニャ大学附属博物館バルツァーニ館長が来館

1月12日、ボローニャ大学附属博物館のバルツァーニ館長が見学のため来館された。

(6) フィンランド式サウナのモニターツアー「Mount Snowu Sauna」会場

2月25、26日、山形・上山・天童三市連携観光地域づくり推進協議会（会長 佐藤孝弘山形市長）によるフィンランド式サウナのモニターツアー「Mount Snowu Sauna」が山寺芭蕉記念館中庭で行われた。

4. 施設利用状況について

(1) 臨時開館・臨時休館・時間延長について

期 日	区 分	説 明
4月1日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
4月8日(月)		
4月9日(火)	臨時休館	展示替えのため
4月10日(水)		
4月11日(木)		
4月15日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
4月22日(月)		
5月7日(火)		
5月13日(月)		
5月20日(月)		
5月27日(月)		
6月3日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
6月4日(火)	臨時休館	展示替えのため
6月5日(水)	臨時休館	消防設備点検
6月6日(木)	臨時休館	展示替えのため
6月10日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
6月17日(月)		
6月24日(月)		
7月1日(月)		
7月8日(月)		
7月16日(火)		
7月22日(月)		
7月24日(水)	臨時休館	展示替えのため
7月25日(木)		
7月29日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
8月5日(月)		
8月12日(月)		
8月19日(月)		
8月26日(月)		
9月2日(月)		
9月3日(火)	臨時休館	展示替えのため
9月4日(水)		
9月9日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
9月17日(火)		

9月24日(火)	臨時開館	来館者サービスのため
9月30日(月)		
10月7日(月)		
10月15日(火)		
10月21日(月)		
10月28日(月)		
11月5日(火)		
11月11日(月)		
11月18日(月)		
11月25日(月)		
12月2日(月)		
12月3日(火)	臨時休館	展示替えのため
12月4日(水)	臨時休館	消防設備点検
12月5日(木)	臨時休館	展示替えのため
12月6日(金)		
12月9日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月11日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
12月16日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月18日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
12月23日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月25日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
12月28日(土)		
1月4日(土)		
1月5日(日)		
1月6日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
1月8日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月14日(火)	臨時開館	来館者サービスのため
1月15日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月20日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
1月22日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月27日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
1月29日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
2月3日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
2月5日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
2月10日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
2月12日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
2月18日(火)	臨時休館	展示替えのため
2月19日(水)		

2月20日(水)	臨時休館	展示替えのため
3月2日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
3月9日(月)		
3月16日(月)		
3月23日(月)		
3月30日(月)		

(2) 無料開放について

- 市制施行記念無料開放：7月7日(日) 156名（大人146名、小中学生10名）
（前年度201名）
- 文化の日無料開放：11月3日(日) 774名（大人713名、小中学生61名）
（前年度857名）

最上義光歴史館

1. 事業計画による主催事業について

(1) 展示事業

① 常設展示Ⅰ「鐵[kurogane]の美 2019 ～武士[mononofu]と日本刀～」

収蔵刀剣(寄託資料含む)から、武士との係りがわかる刀剣を選定して展示、エピソードを交えながら紹介する。福岡藩二代藩主黒田忠之が徳川家から拝領した短刀をはじめ幕末の志士・坂本龍馬ゆかりの刀など計 10 振りを公開し、武士の魂とまでいわれる日本刀のすばらしさを紹介する機会とした。

○期 間 4月13日(土)から7月17日(水) (延日数は92日間)

○入館者数 9,326名 (1日平均約101名)

② 特別展 山形大学附属博物館・最上義光歴史館連携展

「山形めめめ ～江戸のトレンドランキング～」

山形大学附属博物館との共同企画展の第6回。本年度は、附属博物館が所蔵する『最上名所名産名物番付』を取り上げ、記されているものの中から、今も有名なもの、今も名物として親しまれているものと、最上家とゆかりのあるものについて紹介した。

なお、博物館実習の一環として、資料の選定から展示構成、解説文の作成、展示作業、印刷物のデザインまで山形大学の学生が参加した。

○期 間 7月20日(土)から9月8日(日) (延日数は46日間)

○入館者数 4,146名 (1日平均約90名)

③ 常設展示Ⅱ「開館30周年記念 ～最上家ゆかりの新収蔵品～」

最上義光歴史館開館30周年記念展の第一弾。30年間に購入または寄贈を受けて新たに収蔵品になった最上家ゆかりの資料の一部を展示紹介した。

展示件数 19件 / 点数 30点

○期 間 9月11日(水)から12月15日(日) (延日数は83日間)

○入館者数 7,394名 (1日平均約89名)

④ 常設展示Ⅲ「最上義光～乾坤一擲の戦い 『最上義光と長谷堂合戦』展」

最上義光が57万石の大大名になるきっかけとなった長谷堂合戦を取り上げ、合戦の様子を描いた長谷堂合戦図屏風(複製)を中心に長谷堂合戦ゆかりの古文書、古記録、軍記物語、甲冑等を展示紹介した。

○期 間 12月18日(水)から5月17日(日) (延日数は132日間)

○入館者数 4,164名 (1日平均約46名)

※12月18日から3月31日まで91日間

⑤開館 30 周年特別企画「復元!! 最上義光所用鉄製指揮棒」

開館 30 周年記念事業として企画した最上義光所用鉄製指揮棒の復元事業の成果品である上林恒平作「鍛鉄造金象嵌指揮棒(最上義光所用鉄製指揮棒復元品)」の一般公開を行う。

○期 間 12 月 18 日(水)から 5 月 17 日(日) (延日数は 132 日間)

○入館者数 4,164 名 (1 日平均約 46 名)

※12 月 18 日から 3 月 31 日まで 91 日間

(2) 普及啓発事業

①歴史講座

こども講座「ヨシアキ☆すく〜る!？」

山形市内の小学校に出向き、郷土の歴史に触れる機会をつくり、郷土史に対する関心と理解を深め、愛郷心を育てる一助とする。

今年度実施校 14 校 : 参加生徒数 823 名 : 講師 延 45 名

前年度実施校 12 校 : 参加生徒数 829 名 : 講師 延 47 名

○日時、実施校、学年、参加生徒数、講師数の順で記載

- ・ 7 月 4 日(木) 14 時から 15 時まで
山形市立第一小学校 四年生 39 名
最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」 4 名
- ・ 7 月 9 日(火) 11 時から 12 時 10 分まで
山形市立村木沢小学校 四年生 15 名
同「義光会」 6 名
- ・ 9 月 11 日(水) 10 時 40 分から 11 時 40 分まで
山形市立大郷小学校 四年生 29 名
同「義光会」 3 名
- ・ 9 月 26 日(木) 10 時 50 分から 12 時 25 分まで
山形市立明治小学校 四年生 15 名
同「義光会」 3 名
- ・ 9 月 27 日(金) 14 時 35 分から 15 時 35 分まで
山形市立第七小学校 四年生 71 名
同「義光会」 3 名
- ・ 11 月 8 日(金) 10 時 50 分から 11 時 50 分まで
山形市立第二小学校 四年生 83 名
同「義光会」 3 名
- ・ 11 月 12 日(火) 10 時 55 分から 11 時 55 分まで
山形市立南山形小学校 四年生 68 名
同「義光会」 3 名
- ・ 11 月 21 日(木) 11 時 10 分から 12 時 22 分まで
山形市立東小学校 四年生 64 名

- 同「義光会」 3名
- ・ 11月22日(金) 9時30分から10時30分まで
山形市立第八小学校 四年生 72名
同「義光会」 3名
- ・ 11月27日(水) 10時55分から11時50分まで
山形市立蔵王第三小学校 四年生 1名
同「義光会」 2名
- ・ 11月28日(木) 11時から12時10分まで
山形市立第四小学校 四年生 42名
同「義光会」 3名
- ・ 12月5日(木) 9時35分から10時20分まで
山形市立南小学校 四年生 69名
同「義光会」 3名
- ・ 12月6日(金) 10時50分から11時40分まで
山形市立滝山小学校 四年生 133名
同「義光会」 3名
- ・ 1月15日(水) 10時50分から12時10分まで
山形市立南小学校 四年生 122名
同「義光会」 3名

②ボランティアに係わる事業

「義光塾」

最上義光や郷土の歴史について多角的に学習して、来館者に対して幅広い知識で接遇が可能となるようにスキルアップを図った。

開催場所は、いずれも最上義光歴史館研修室でおこなった。

(回数2回：参加者総数51名 ※中止1回)

○日時、内容、受講者数、講師の順で記載

- ・ 8月7日(水) 13時30分から15時30分
「最上家ゆかりの絵画」 17名
佐藤 琴先生(山形大学学士課程基盤教育機構教育企画部准教授)
- ・ 12月20日(金) 11時から13時
「出羽の国の新しい謎」 34名
片桐繁雄先生(最上義光歴史館資料整備検討委員会委員)
- ・ 3月15日(日) 10時から
「山形城下絵図『桶谷互理家本Ⅰ』と近世初頭の縄張り」
齋藤 仁先生(山形市教育委員社会教育青少年課主幹)
※新型コロナウイルスの感染拡大に伴い年度内の開催中止

「現地研修会」

最上家や郷土の歴史に関する史跡等を現地研修し、現地に赴くことによってボランティアが郷土史と文化財に対する知識と理解を深め、来館者に対してより質の高い接遇が可能となるようにスキルアップを図った。

○日 時 9月2日(月)

○内 容 庄内地方(羽黒山、致道博物館、城輪柵跡、北館神社)を目的地として現地研修し、現地に赴くことによって、郷土史と文化財に対する知識と理解を深め、幅広い知識と質の高い接遇を学び、来館者の満足度が上がるようにスキルアップを図った。

○研修先 ①国宝・羽黒山五重塔他(鶴岡市羽黒町)
②致道博物館(鶴岡市)「戦国の庄内」展を見学 ※義光兜出品展
③城輪柵跡(酒田市)
④北館神社・北楯大堰(庄内町狩川)

○参加者 32名

(3) 調査研究事業

①最上家関係資料・史跡調査〔継続事業〕

県内外に残る最上家等に関わる文書資料や文化財・史跡などの調査研究を進め、写真撮影等による記録保存及び目録作成、複写等の資料整備を行う。

○某旧家より寄託された刀装具の調査を行い、展覧会等への活用の準備を行う。

(4) その他の事業

①インターネットによる情報の配信と企画

インターネットを媒体として、ホームページを活用して様々な情報を発信するとともに、企画から物販まで幅広く展開した。

・一般ページのアクセス件数

<4月から3月までの延366日間のアクセス件数>

	平成30年度	令和元年度	前年度比
回数	656,129回(1,798回/日)	627,092回(1,713回/日)	4.4%減
人数	99,326人(272人/日)	102,039人(279人/日)	2.7%増

・こどもページのアクセス件数

<4月から3月までの延366日間のアクセス件数>

	平成30年度	令和元年度	前年度比
回数	13,669回(37回/日)	15,927回(44回/日)	16.5%増
人数	4,878人(13人/日)	6,158人(17人/日)	26.2%増

- ・スマートフォンサイトのアクセス件数 ※平成30年11月1日より導入
 <平成30年度は11月から3月までの延151日間のアクセス件数>
 <令和元年度は4月から3月までの延366日間のアクセス件数>

	平成30年度	令和元年度	前年度比
回数	14,635回(97人/日)	44,504回(122回/日)	—
人数	2,837人(19人/日)	14,843人(41人/日)	—

2. 運営懇談会、資料整備検討委員会に関する事項について

令和元年度 最上義光歴史館運営懇談会

日時 令和元年11月15日(金) 午後2時

会場 最上義光歴史館 会議室

- 内容
- ①報告
 - ・平成30年度事業報告
 - ・令和元年度事業経過報告
 - ②懇談
 - ・最上義光歴史館の運営と経営について
 - ・令和2年度事業及び運営について
 - ・その他

令和元年度 最上義光歴史館資料整備検討委員会

開催なし

3. 特筆すべき事項について

(1) 最上義光武将隊の活動

- ・4月13日～14日 霞城観桜会 賑やかし(写真撮影会等)参加。
- ・10月6日 第7回山形まるごとマラソン2019 沿道(山形城二の丸北門)から応援。
- ・10月12日 『街なか賑わいフェスティバル2019』
 ※台風のため開催中止

4. 施設利用状況について

(1) 臨時開館・臨時休館・開館時間延長

期日	区分	説明
4月2日(火)	臨時休館	展示替え作業のため
4月13日(土)	開館時間延長(19時まで)	観桜会開催のため
4月14日(日)		
7月18日(木)	臨時休館	特別展の展示替え作業のため
7月19日(金)		

8月 5日 (月)	臨時開館 開館時間延長(18時まで)	花笠祭りのため
8月 6日 (火)	開館時間延長(18時まで)	
8月 7日 (水)	開館時間延長(18時まで)	
8月 13日 (火)	臨時開館	お盆期間のため
9月 10日 (火)	臨時休館	特別展の展示替え作業のため
12月 17日 (火)	臨時休館	展示替え作業のため

公益財団法人山形市文化振興事業団

1. 理事会・評議員会について

(1) 第1回理事会

- 日 時 令和元年5月29日(水) 午後3時
- 場 所 山形グランドホテル サンリヴァ
- 議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団平成30年度事業報告及び決算の承認について (原案どおり承認可決)
- 第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団山寺芭蕉記念館運営懇談会委員の委嘱について (原案どおり承認可決)
- 第3号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団山寺芭蕉記念館資料整備検討委員会委員の委嘱について (原案どおり承認可決)
- 第4号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団最上義光歴史館運営懇談会委員の委嘱について (原案どおり承認可決)
- 第5号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団最上義光歴史館資料整備検討委員会委員の委嘱について (原案どおり承認可決)

(2) 第1回評議員会(定時評議員会)

- 日 時 令和元年6月14日(金) 午前10時30分
- 場 所 山形グランドホテル サンリヴァ
- 議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団平成30年度事業報告及び決算の承認について (原案どおり承認可決)
- 第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団評議員の選任について (原案どおり承認可決)
- 第3号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団役員を選任について (原案どおり承認可決)

(3) 第2回理事会

- 日 時 令和元年6月14日(金) 午前11時30分
- 場 所 山形グランドホテル サンリヴァ
- 議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興理事長、副理事長の選定について (理事長に相馬理事、副理事長に寒河江理事、大久保理事が選定される)

(4) 第3回理事会

- 日 時 令和2年3月27日(金) 午後2時
- 場 所 山形グランドホテル アルカス
- 議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和元年度正味財産
増減補正予算について (原案どおり承認可決)
- 第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和2年度事業計
画及び正味財産増減予算について (原案どおり承認可決)
- 第3号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和2年度評議員
会の開催について (開催の日時、場所、目的を決定)

2. 監査に関する事項について

- (1) 平成30年度事前監査 令和元年5月15日(水)
午前9時30分(山寺芭蕉記念館 会議室)
- (2) 平成30年度監査 令和元年5月21日(火)
午後3時(最上義光歴史館 会議室)